



## 産業科学研究所 定例記者会見 (第 19 回)

1 月 20 日(火) 大阪大学中之島センター(2F 講義室 201)にて実施

### ❖ 概要および発表内容

大阪大学産業科学研究所(産研)では、毎月の定例記者会見を実施しております。産研は、昨年75周年を迎えた歴史ある研究所であり、文字どおり「産業に生かす科学」を目的として、「材料」、「情報」、「生体」および「ナノテクノロジー」の分野で基礎から応用に至る広い分野で研究・教育を推進しています。記者会見では、最新の研究動向、成果、今後の発展等について、わかりやすい情報を発信します。第19回の定例会見を、以下のとおり実施しますので、ご参加ください。

【開催日時】1月20日(火)13時30分から

【開催場所】大阪大学中之島センター2F講義室201



吉田 陽一

よしだ よういち

産業科学ナノテクノロジーセンター長  
(産業科学研究所 副所長・ナノ極限ファブリケーション研究分野 教授)

### 【発表1】 ナノテクノロジーの情報発信

#### -1月開催のナノテック2015(東京ビッグサイト)に出展-

平成27年1月28日(水)～1月30日(金)東京ビッグサイトにて開催される「nano tech ナノテック2015国際総合展・技術会議」に、大阪大学のナノテクノロジーの拠点である、産業科学研究所産業科学ナノテクノロジーセンターとナノサイエンスデザイン教育研究センターが中心となり、その他大阪大学のナノテック関連のグループと共同で出展を行います。

ブース展示においては、ナノテック関連の研究・活動を、ブースセミナー等を通して紹介します。また、1月30日(金)には「シーズ&ニーズセミナー(A会場13:15～14:00)」にて、大阪大学のアクティビティの報告を行う予定です。

同時に、平成27年1月19日(月)に発足記念式典を迎える「関西ナノテックネットワーク」(大阪大学、大阪府立大学、大阪市立工業研究所、産業技術総合研究所・関西センター)の「ナノテックを生かしたニューコンセプトデザインの創成」についても、この機会を通して、広く世界に紹介します。



駒谷 和範

こまたに かずのり

産業科学研究所  
(知識科学研究分野 教授)

### 【発表2】 認識誤りを考慮に入れた音声対話ロボットを開発中

知識科学研究分野では、音声を聞き取って対話をするロボットの開発を進めています。この際に必要となる音源定位や音声認識には、ロボット聴覚ソフトウェアHARKや、音声認識エンジンJuliusなど、日本の大学で開発されたオープンソースソフトウェアを利用しています。



しかし、音というアナログ信号の認識には誤りが避けられません。我々の研究グループでは、正しい認識結果が得られる場合のみを考えるのではなく、認識誤りが起こるのを防ぐ手法や、認識誤りが起こった際にそれを検出する手法の研究をしています。これらは、音声対話ロボットが広く社会で使われるために必須の技術です。

#### [用語解説]

音源定位: 音がどの方向から来ているのかを推定する処理

音声認識: 音を人間の言葉に変換する処理

オープンソースソフトウェア: プログラム自体を含め無料公開されているソフトウェア